

学校支援を積極的に進めよう

～ 家庭・学校・地域を結ぶPTA ～

刈谷市立富士松東小学校PTA

1 学区及び学校の概要

本校は、刈谷市北部に位置する全校児童425名の学校である。学校の南側にはトヨタ系の工場が隣接しているが、学区には田園地帯が広がり、夏はスイカ、冬はダイコンの栽培が盛んに行われている。保護者や地域の方々は、学校の教育活動に理解があり、学校行事やボランティア活動など、積極的に参加して支援をいただいている。

2 研究のねらい

本校では、今年度のスローガンを「素直でたくましい子どもを育てよう ～家庭・学校・地域を結ぶPTA～」とし、家庭・学校・地域が協力・連携して、子どもたちを健全に成長させていくような活動に取り組もうと考えた。

3 研究の方法

研究のねらいに近づくため、家庭や学校、地域の方々が、共に活動する場をより多く設定し、その効果を検証する。

4 研究の実践

(1) ベルマーク集計会 (6月・10月)

月に一度の児童の委員会活動の時間だけではなかなかベルマークの集計作業が進まないため、「ベルマーク集計会」と称して、昨年度は2回、今年度は1回、PTA役員・理事・幹事会後に行った。

作業の初めに、職員とPTAで4～5名のグループを作った。そして、ベルマークの集計や仕分けの作業を1時間ほど行くと、貯まっていた数万点のベルマークを整理する

ことができた。その後、集めたベルマークで子どもたちに還元できるものを購入することになり、ディスゲッターを2台購入した。授業やレクリエーションで活用しており、好評であった。



【ベルマーク集計会】

(2) PTAクラブ (7月)

PTAクラブとは、PTA主催の文化教室であり、知識や教養を深めるために外部講師の先生を招いて活動している。昨年度は、ヨガ教室を開催したところ、23名が参加して心地よい汗を流した。参加者の方々から、「とても体がすっきりした」「姿勢がよくなった」「呼吸の仕方も大切だということが分かった」など好評であった。今後も、PTAクラブの活動を継続していきたい。

(3) P T A 社会学級 (6月)

P T A 社会学級は、P T A 広報委員会主催の講演会である。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかったが、昨年度は6月に(株)キャッチネットワークの浜口真麻子氏を講師に迎えて、「親子でネットモラル」といった演題で講演を行った。



講師の浜口先生から、次のことを教えていただいた。

- ・ スマホが離せないためにゲーム障害になったり、交通事故に遭いそうになったりしている状況があちこちで起きていること
- ・ ネットいじめが深刻であること
- ・ スマホを使う前に、親子でしっかりと使用の際のルールを決めておくこと
- ・ ネット上で知り合った人とは会わないこと
- ・ 個人情報を安易に載せないこと

【社会学級 親子でネットモラル】

講演会後の感想から、「とても分かりやすかった」、「使用時間など、親子でルール作りをしたい」との声が聞かれた。

(4) P T A 草取り作業 (9月)

本校では、毎年運動会の前に、P T A 環境整備委員主催の除草作業を行っている。今年は120名の方々に参加していただき、1時間でリアカー2台分の除草ができた。この活動で、運動会を迎えるための素晴らしい環境ができた。

(5) 運動会運営補助 (10月)

毎年、P T A 保健体育委員会が中心となって、運動会の支援活動を行っている。内容は、以下の3点である。

- ・ 来賓受付及び接待
- ・ 5年生リレーへの保護者参加の取りまとめや整列の手伝い
- ・ 学校周辺のパトロール



【来賓受付の様子】

9月のP T A 役員・理事・幹事会で、役割や当日の動きについて打合せを行った。そのため、運動会当日は順調に支援活動を行うことができた。

5 成果と今後の課題

ここ数年、保護者の方々に無理なくP T A 活動に参加できるように、活動内容の見直しを行っている。一年の活動を終えた幹事の方々から、「仕事との両立ができた」「以前やったときよりも負担が減った」「これまで交流のない人とも話ができてよかった」など、前向きな感想を多くいただくことができた。

今後もP T A 活動を見直しながら、家庭・学校・地域がより連携して子どもたちを健全に成長させていくような活動に取り組んでいきたい。